

目次・本書の内容

■基礎知識編

1 入試の理科はどのように難しいのか？	4
2 難問は4つの要素からできている 傾向と対策①	5
3 難問は4つの要素からできている 傾向と対策②	6
4 難問の3層構造 パズル+数学+理科	7
5 難問の3層構造 イメージをつかむ	8

■問題編

1 原理の理解を求める問題	
例題	11
練習問題	13
2 パズル的な問題	
例題	19
練習問題	22
3 理数横断型問題	
例題	28
練習問題	32
4 総合問題演習	
例題	37
練習問題	41

■解答・解法・解説編	46
------------	----

本書の内容・構成

本書は、上の目次のように3つのパートで構成されています。それぞれの役割と使用上のポイントを記します。

■基礎知識編

神奈川県公立入試の理科の難問の性格と課題を整理しました。読んで、難問の正体を見極めましょう。

■問題編

基礎知識編で整理した、難しさの分類にしたがっています。「原理の理解を求める問題」「パズル的な問題」「理数横断型問題」の順に練習し、まとめにあたる「総合的問題練習」に進んで下さい。

例題 出題例です。まずは、これを解いて、レベルや性格のイメージをつかみましよう。

練習問題 例題で示された課題の練習をします。今後、さらに出題パターンが多様化することも想定し、さまざまなタイプのものを取りあげています。

■解答・解法・解説編

「解答」は解答例です。説明記述問題の場合は、完全に一致していかなくてもかまいません。

「解法」は解き方の説明です。熟読してください。

「解説」は、その問題の性格を説明・分類するものです。練習問題では、例題のどことどのような点でつながっているのかを解説しています。出題分野・単元は異なっても、求められる思考・判断の内容が共通していることがしばしばあります。そのつながりが見えるようになると、問題の表面的な印象に左右されず、落ち着いて考えることができるようになります。

★注意 本書の問題は、理科の分野別に分類されていません。配列はそれぞれの「難問」の考え方のパターンに従っています。各単元の導入および設問ごとの解説を読んでください。